

高校ラグビー 7人制全国大会 土佐塾ベスト8

ラグビーの全国高校7人制大会最終日は21日、長野県上田市の菅平高原スポーツランドで行われ、本県代表の土佐塾は、予選1位チームの集まるカップトーナメント1回戦で本郷（東京）を26―19で破り、8強進出を果たした。準々決勝で

は報徳学園に0―22で敗れた。東福岡（福岡）が優勝した。
（25面に関連記事）

土佐塾は、本郷戦では前半から押し気味に試合を進め、前半を12―5で折り返し、後半も14―14として逃げ切った。準々決勝では報徳学園のパワーとスピードに苦戦。前半15点、後半7点を奪われ、得点できなかつた。

裏側に出したキックを自ら拾い、半山につないで先制。その後、新階もトライを決めて、前半12―5とリードして折り返した。後半もエンジンのかかった本郷と14―14と互角に渡り合う。仕掛けを我慢してボールを回した攻撃が奏功。パスのスキルはむしろ上回っていたようだった。
ただ、準々決勝の報徳学園戦では、得点を挙げられず。スピード、パワ

全国へ手応え

○…堂々の8強進出を果たした土佐塾。カップトーナメント1回戦では、東京代表の本郷を破る殊勲の勝ち星を挙げ、西村監督は「よくパスがつながったと思う」と納得の様子。
その本郷戦。前半、金崎が相手ディフェンスの

報徳学園 22―7
（兵庫） 15―0
土佐塾 26―19
（東京） 14―14
土佐塾 26―12
（福岡） 5―26
（大阪） 5―26
御所実 26―19
（奈良） 19―26
東福岡 26―12
御所実